

不法就労・不法滞在 来日外国人犯罪の防止にご協力を！

はじめに

日本国内には、正規に入国したのち在留期限を超えて日本に滞在している不法残留者を含め、不法滞在者が多数存在しています。

不法滞在者は就労資格を有していないため、当然、その多くは不法就労に従事しており、一部は国際組織犯罪等への関与を深めているとみられています。

また、来日外国人犯罪は、組織化や地方への拡散化の傾向をみせており、その手口もより悪質化・巧妙化し、日本の治安に大きな影響を及ぼしています。

不法就労・不法滞在を防止し、来日外国人犯罪を未然に防ぐためには、地域の皆さんの正しい理解とご協力が不可欠となります。

CASE.1 来日外国人犯罪

来日外国人による窃盗等の各種犯罪です。組織的な窃盗団等の国際犯罪組織や暴力団が関与しているケースも多く、現在は組織的・潜在的なものになっています。

皆さんの身の回りにそのような者が潜んでいるかもしれません。

CASE.2 不法滞在者を雇うのも犯罪！

不法滞在等には、本人の不注意による場合もありますが、多くは意図的に日本に不法滞在をして、不法に就労しているケースです。雇い主がこのような外国人を雇っても犯罪になる場合がありますので、外国人を雇い入れる場合は身分確認を徹底しましょう。

また、CASE.1のような犯罪組織に巻き込まれて、人身売買等の犯罪被害者となっている場合があります。

そこで…

要注意！！

★ 近所に素行の分からない不審な外国人が住んでいる・稼働している。

★ 人目に付かないよう隠れるように集団で生活している外国人がいる。

以上は、ほんの一例に過ぎません。

もし「なにか変だな」とか「こんな噂があるよ」でもかまいません。

すぐに警察署へ通報して下さい。

安全で住みよい地域づくりにご協力をお願いします。

